

# 山下雄平新聞

<発行元>  
山下雄平後援会  
〒840-0801  
佐賀県佐賀市駅前中央  
三丁目6-11  
TEL:0952-37-8290  
FAX:0952-37-8291

# 代表質問で登壇

## 外国人受け入れで質疑

十二月十七日に閉会した臨時国会では、私は参議院の代表質問を行いました。代表質問は参議院議員全員が出席する本会議場での会派を代表した質問です。委員会での質問はこれまで三十回ほど機会をいただきましたが、代表質問は初めてでした。

私が演台に登った十月二十八日の議題は、介護職への外国人受け入れなどに向けた外国人技能実習制度法案と入管難民法改正案でした。

介護の現場はどの人も人手不足で悩んでおられます。こうした現状を踏まえつつも、「外国人を受け入れることで介護の質が低下するのでは

ないか、日本人の雇用に悪影響が出ないかとの懸念がありま

す。日本人の介護職の処遇改善も進めていくべきです」となどと指摘しました。

塩崎恭久厚生労働大臣は「必要な日本語学習の機会を確保して介護サービスの質を担保するとともに、日本人介護職の処遇改善の努力も進めます」と答弁されました。

## 改正論議を開始

### 憲法審

夏の参議院選挙後、初めての憲法論議が参議院から始まりました。初回となった十一月十六日の憲法審査会では各議員から憲法改正に関する意見を表明する形で行われました。私は一票の格差問題を取り上げ、「議員定数を人口比例にすること

と問いかけました。憲法四十三条は「国会議員を全国民の代表」と定め、この規定と十四条の「法の下の平等」を



## ウズベク派遣へ

参議院からの派遣で、ODA(政府開発援助)の執行状況の調査のため、一月下旬にウズベクスタンを訪問することになり、建設・発電・医療などの分野で視察し、今後の政策に反映する予定です。

12月10、11日に大野泰正国土交通政務官が佐賀県を訪れ、九州新幹線西九州ルートや西九州自動車道、伊万里港、名村造船所などを視察されました。私も県内の全行程に同行しました。

## 国交省幹部が来佐



道路、鉄道、港湾、造船など佐賀県が抱える課題をよく理解していただけたと思います。2017年度予算も含め、さらに前に進んでいくように、力を合わせていきます。

夏に参議院選は「鳥取・島根」「徳島・高知」が合区されました。先の米国大統領選では選挙人が三人しかいない人口の少ない七州には、トランプ、クリントン両氏とも一度も足を踏み入れていません。

首都圏の祖父は、戦後、抑留された場所から転向し、共産党に加入し、四年間、帰国できなかったと言っていました。父は生きたまま、お陰で私がいます。足る地を定め、祖國を運ぶ予定で、責任を担うつもりです。

私は憲法審で「選挙で選ばれる代表の数を人口だけに比例させていけば、人口が少ないところには国会議員が足を運ばなくなる」と警鐘を鳴らしました。